

図書だより

鬼怒商業高等学校図書館
平成30年 7月号

もう1学期も残りわずかとなりました。期末考査も終え、一息ついた頃と思います。さて、みなさんは今までどんな本を読みましたか？どんな本が好きですか？夏休みに本を読んでみませんか？参考になればと、図書委員がおすすめの本を紹介します♪

夏休み開館時間：12：45～13：15

放課後開館時間：15：45～16：45 ※会議等により時間変更する場合有り

夏休み期間中：9：00～16：45（長期休暇中は1人5冊まで貸し出可能）



「氷菓」 米沢 穂信

いつの間にか密室になった教室。毎週必ず借りだされる本。あるはずの文集をないと言いつける少年。そして「氷菓」という題名の文集に秘められた33年前の真実。省エネを主義とする折木奉太郎は、なりゆきで入部した古典部の仲間に依頼され、日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かす青春ミステリー！ Y.Y

「そのままがいい」 田口 久人

「そのままがいい」という本は、インスタグラムに投稿したところ100万いいね！を集めた言葉の中から176の言葉を集めた作品になっています。この本は落ち込んでいる時や、悩み事がある時にこの本のページを適当に開いてみると、その時の自分を勇気づけてくれる言葉に出会えます。 R.E

「死を見る僕と、明日死ぬ君の事件録」 古宮 九時

「僕」が他の人と違うこと。人の死を予告する幻影が見えること。そして、その幻影が見えても何も出来ないと諦めていた僕が、死の未来を背負う「君」と出逢い、運命に抗う為奔走する物語。「僕」と「君」の隠された運命に涙する衝撃&感動の幻影ストーリー！！

是非読んでみてください！！

M.S



「呪われたカメラ」 R.L. スタイン

仲良し4人組で廃屋に忍び込み、地下室から持ち出したカメラはシャッターをきると恐ろしい写真がでて呪われるという物語。その4人組は一体どうになってしまうのか・・・。
是非読んでみてください！！

K.T



「君たちはどう生きるのか」 吉野 源三郎

小説と漫画があり、漫画はとても読みやすいです！世の中や生きる意味について自ら考え始めた少年コッパル君を叔父さんが導いていくお話です。人間としてどうあるべきか、生き方や考え方、心に刺さる言葉や印象に残る言葉が沢山書いてあり、コッパル君と一緒に自分自身も成長出来る一冊です！！

S.M



「星の王子様」 サン＝テグジュペリ

ファンタジーのように思えますが、読み終わるとなんとも言えない寂しさのようなものが伝わってきます。
ぜひ読んでみてください。

N.R



「時をかける少女」 筒井 康隆

これは、中学生の女の子があることをきっかけに過去に戻ることができるタイムリープの能力を持ち、様々な不思議体験をしていく物語です。一見便利そうに思えるタイムリープの能力に隠れた深さや切なさに心惹かれます。主人公が同年代の女の子という設定で共感できる部分があったりします。 I.Y

I.Y



「きりこについて」 西 加奈子

小学校の体育館裏で、きりこが見つけた黒猫ラムセス2世はとても賢く、大きくなるにつれ人の言葉を覚えていった。きりこは5年生の時に好きな男の子に「ぶす」と言われ強いショックを受け引きこもる日々。そんななかラムセス2世に励まされ外に出る決心をする。きりこが見つけた世の中で一番大切なことは何か？というお話です。是非読んでみてください。

K.M